

英語学講読B(1) 久屋 孝夫	履修年次	クラス	単位	学期
	3-4		2/4	後期/通年
備考： 英語学講読/英語学研究A/文法論B				

【講義の概要】

【授業の到達目標およびテーマ】

社会言語学的視点から表現の多様性を学んで、英語の実践的運用能力を高める。

【授業の概要】

異なる時間と空間と文脈において観察される英語の多様性 / 個性を学び、社会言語学の基礎知識を得る。

【準備学習等についての具体的な指示】

講義中心となるが、教科書の予習復習を前提とする。なおポイントを要約したハンドアウトをMoodleに掲載するので、ダウンロードして、活用されたい。

【授業計画/各回ごとの授業内容】

【第1回～第3回】

(1) 歴史的・空間的広がり由来する多様性：

イギリス国内の地域ごとの英語：

北部[グラスウィージャンGlaswegian Glasgow スコットランド]

[ジョーディGeordie Newcastle-upon-Tyne]

中部[スカウスScouse Liverpool][ブラミー Brummie Birmingham]

南部[Queen's English, BBC/Public School English ロンドン]

[コックニーCockney London][エスチュリーEstuary テムズ河口域]

海を越えて世界に広がり育まれた英語：

(native varieties : アメリカ英語、オーストラリア英語、ニュージーランド英語)

(non-native varieties : インド英語、カリブ海英語、アフリカ英語、アジア英語)

【第4回～第6回】

(2) 文脈的差異由来する多様性〔Register, Mode, Tenor/Style〕

聞き手(単数か多数か)により変わる表現スタイル

伝達手段による差異--口語か文語か(spoken or written)

媒体による差異(ネット英語、e-mail英語、etc.)

対話相手との関係の親疎(degrees of formality 儀礼的關係か親しい関係か)

【第7回～第9回】

(3) 修得過程の中で変化し成長する言語の姿(幼児語から成人語への変化)

Restricted Code vs. Elaborated Code (Basil Bernstein)

【第10回～第12回】

(4) 英語とジェンダー(社会的文化的性)(sexist language)

【第13回～第15回】

(5) 現実世界を言語でどう表現する(談話[ディスコース]化する)か

文構造(能動文か受動文など)や語彙項目の選択を左右する

思考・知覚・認知の社会的側面

* 第15回に小テストを行なう。

詳細はSAINSのwebpage(moodle内の該当コース)に掲示。

〔テキスト〕

Martin Montgomery: An Introduction to Language and Society (third ed.) Routledge 2008.
Janet Holmes: An Introduction to Sociolinguistics (third ed.) Pearson/Longman 2008.
Boye De Mente, On the Streets of America. DHC. 2002.
Beverley Collins & Inger M. Mees, Practical Phonetics and Phonology. Routledge. 2003.
Tom McArthur: The Oxford Guide to World English, Oxford University Press 2002.
Wikipedia: The History of the English Language. 2006.

〔参考書等〕

The Oxford English Dictionary, Oxford University Press.

〔成績評価の方法〕

出席状況、平常点（20％）、リサーチワーク3回（50％）、小テスト（20％）などにより総合的に評価する。

〔履修上の注意〕

授業に出席するだけでなく、主体的参加を求める。授業終了後コメントカードを提出する。3回を超える欠席者は単位取得が困難。